

II 生しいたけ

1 WTO協定上の指標（9項目）

- （1）輸入量の増加率
- （2）輸入の増加量
- （3）国内市場占拠率
- （4）販売
- （5）生産

	単位	平成8年	9年	10年	11年	12年
輸入量 (A)	t	24,394	26,028	31,396	31,628	42,057
対前年増減率	%	—	6.7	20.6	0.7	33.0
対前年増加量	t	—	1,634	5,368	232	10,429
国内市場占拠率 (A)/(A+C)	%	24.5	25.8	29.7	31.0	38.5
販売額 (B)×(C)	億円	811	778	727	669	615
対前年増減率	%	—	▲ 4.1	▲ 6.6	▲ 8.0	▲ 8.1
国内平均価格 (B)	円/kg	1,079	1,041	980	949	915
対前年増減率	%	—	▲ 3.5	▲ 5.9	▲ 3.2	▲ 3.6
国内出荷量 (C)	t	75,157	74,782	74,217	70,511	67,224
対前年増減率	%	—	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 5.0	▲ 4.7

資料：財務省貿易統計、政府調査、林野庁調べ

（6）生産性

	単位	平成8年	9年	10年	11年	12年
生産性 (A)/(B)	kg/時間	1.62	1.69	1.69	1.72	1.70
対前年増減率	%	—	4.3	0.0	1.8	▲ 1.2
国内出荷量 (A)	t	75,157	74,782	74,217	70,511	67,224
総労働時間 (B)	千時間	46,303	44,343	43,997	40,985	39,500

資料：政府調査、林野庁調べ

(7) 操業度

	単位	平成8年	9年	10年	11年	12年
原木栽培の発生舎 (B)/(A)	%	94.7	93.9	87.1	86.2	84.9
所有施設(A)	千m2	208	213	232	232	232
稼働施設(B)	千m2	197	200	202	200	197
菌床栽培の発生舎 (B)/(A)	%	94.9	92.6	95.3	94.8	95.5
所有施設(A)	千m2	118	135	148	155	155
稼働施設(B)	千m2	112	125	141	147	148

資料：政府調査

(8) 損益

	単位	平成8年	9年	10年	11年	12年
収入	億円	822.2	786.9	736.8	683.6	628.3
対前年増減率	%	—	▲ 4.3	▲ 6.4	▲ 7.2	▲ 8.1
経費	億円	655.0	633.6	609.4	587.1	567.0
対前年増減率	%	—	▲ 3.3	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 3.4
所得	億円	167.2	153.3	127.4	96.5	61.3
対前年増減率	%	—	▲ 8.3	▲ 16.9	▲ 24.3	▲ 36.5

資料：政府調査

(9) 雇用

	単位	平成8年	9年	10年	11年	12年
生産者数	戸	50,772	46,438	43,244	37,810	34,130
対前年増減率	%	—	▲ 8.5	▲ 6.9	▲ 12.6	▲ 9.7
総労働時間	千時間	46,303	44,343	43,997	40,985	39,500
対前年増減率	%	—	▲ 4.2	▲ 0.8	▲ 6.8	▲ 3.6

資料：政府調査、林野庁調べ

2 その他の指標

(1) 競合要因に関する資料

①出荷団体における価格帯別単価の推移

(単位：円/Kg)

価格帯	H12		H11	H10	H 9	H 8
		出荷量割合				
-1500	1,753	3%	1,754	1,784	1,802	1,693
1500-1400	1,454	3%	1,468	1,578	1,619	1,701
1400-1300	1,364	9%	1,376	1,392	1,463	1,603
1300-1200	1,225	5%	1,246	1,338	1,400	1,494
1200-1100	1,156	7%	1,143	1,185	1,234	1,287
1100-1000	1,041	20%	1,039	1,094	1,161	1,239
1000-900	952	6%	970	983	1,098	1,158
900-800	854	12%	902	922	1,017	1,044
800-700	743	11%	714	812	819	901
700-600	647	12%	669	699	759	804
600-500	545	6%	540	655	701	701
500-400	438	3%	441	505	556	604
400-	251	3%	329	319	421	390
平均	943	100%	948	977	1,026	1,063

資料：政府調査

注) 出荷組合の規格別単価の推移を、平成12年を基準にさかのぼり価格帯として集計したもの

②輸入生しいたけの評価(構成比)

業者区分 評価区分	輸入業者	中央卸売業者	地方卸売業者	中央仲卸業者	小売業者	外食食品加工業者
A級品相当	32%	18%	16%	30%	33%	15%
B級品相当	35%	42%	49%	41%	62%	58%
C級品相当	30%	32%	29%	24%	3%	23%
D級品相当	3%	8%	6%	4%	2%	5%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%

資料：政府調査

注) 評価の区分は次のとおり

A級品相当： 国内産生しいたけの卸売価格帯900円/kg以上に相当

B級品相当： // 600円/kg～900円/kgに相当

C級品相当： // 300円/kg～600円/kgに相当

D級品相当： // 300円/kg未満に相当

③国産生しいたけの価格低下の理由（構成比）

区 分	中央卸売業者	地方卸売業者	中央仲卸業者
輸入量の増大	94%	79%	86%
国内生産量の増加	0%	1%	1%
需要の減少	0%	3%	7%
他のきのこへシフト	4%	9%	6%
わからない	0%	1%	0%
その他	1%	4%	0%
無回答	0%	3%	0%
計	100%	100%	100%

資料：政府調査

④生しいたけと他のきのこの間の需要の変化（構成比）

区 分	小売業者	外食食品業者
みられる	63%	15%
みられない	37%	85%
計	100%	100%

資料：政府調査

⑤消費者における国内品・輸入品の用途の違い（構成比）

違いの有無	あり	なし	合計
	25%	75%	100%

資料：政府調査

（２） 構造要因に関する資料

①生産者の平均年齢と年齢構成

- 平均年齢 全平均：５５歳 原木生産者：５６歳
菌床生産者：５３歳

- 生産従事者の年齢構成

年齢階層	人数	構成比
80歳以上	3	0%
70歳以上 80歳未満	64	8%

60歳以上 70歳未満	178	23%
50歳以上 60歳未満	310	39%
40歳以上 50歳未満	197	25%
30歳以上 40歳未満	34	4%
30歳未満	2	0%
合 計	788	100%

資料：政府調査

② 後継者の有無

区 分	合 計		原木栽培		菌床栽培	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
後継者がいる	208	26%	136	25%	72	31%
後継者がいない	581	74%	417	75%	164	69%
合計	789	100%	553	100%	236	100%

資料：政府調査

③平成8年以降に栽培を開始した者の割合

区 分	回答数	構成比
新規参入者	135	17%
全体数	789	100%

資料：政府調査

④今後の生産規模

区 分	回答数	構成比
価格にかかわらず減らす予定	102	13%
価格にかかわらず生産量を維持するつもり	340	44%
価格が現在より高くなるなら生産を増やす予定	174	22%
価格が現在より安くなるなら生産を減らす予定	133	17%
わからない	30	4%
合 計	779	100%

資料：政府調査